国立精神・神経医療研究センター
バイオバンク
～次世代の医療のために～

（倫理指針に則る情報公開）

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。
この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので予めご了承ください。

・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012年12月7日以降にご同意いただいた方で
うつ病と診断された方、特に疾患のない方

【研究課題名】

健康成人及び神経疾患患者由来血漿及び脳脊髄液を用いた神経伝達物質評価

【研究責任者】

成田　直浩(武田薬品工業株式会社)

【本研究の目的及び意義】

この研究では、健康な方と神経の病気を持つ方から提供された血液や脳脊髄液の中の神経の働きに関連する物質の変化を明らかにし、将来的に新規治療法（薬剤）の開発や、その治療効果の予測に役立てることを目指します。

【本研究に提供する試料・情報】

血液（血漿）、髄液
併用薬、前治療薬、性別、年齢、合併症、認知機能スケール、検体採取時刻、心理検査結果
提供する試料・情報の取得の方法：バイオバンクにおいて広範な同意を得て収集した試料・情報

【研究期間】

提供後～2028年6月15日

【試料・情報等扱う機関】

積水メディカル株式会社

（問い合わせ窓口）
国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター バイオバンク
所属　メディカル・ゲノムセンター　バイオリソース部
電話番号　042-346-3520　E-mail：biobank※ncnp.go.jp（※を＠に変更してください）